

ラトビア共和国

(Republic of Latvia)

I 概要

- | | | | |
|---------|--------------------------|--------------------|---------------------|
| 1. 人口 | 214万人（2016年7月現在、ラトビア内務省） | 5. 1人当たり国内総生産（GDP） | 13,573ドル（2015年、IMF） |
| 2. 面積 | 6.5万平方キロメートル（日本のおよそ6分の1） | 6. 首都 | リガ |
| 3. 政治体制 | 共和制 | 7. 通貨単位 | ユーロ |
| 4. 言語 | ラトビア語 | | |

《出典》外務省ウェブサイト（<http://www.mofa.go.jp/mofaj/area/latvia/data.html>）（更新日：2016年11月10日）。

II 教育の普及状況

教育段階	年	在籍率	性別	
			男	女
就学前教育	2013年	93%	93%	92%
初等教育	〃	103%	103%	102%
中等教育	〃	110%	112%	109%
高等教育	〃	67%	54%	81%

（通常の年齢よりも早い又は遅い入学や留年等を理由とする該当年齢以外の在籍者を含む）

III 教育行政制度

中央に置かれる教育科学省が、教育施策全般を所管し、職業教育機関や高等教育機関、特別支援教育機関等を指導・監督する。地方レベルでは、市町村が教育科学省の監督の下、公立就学前教育施設や初等学校、基礎学校、普通中等学校等を指導・監督する。

IV 学校体系

(学年暦：9月～翌年5月)

1. 就学前教育

就学前教育は、1.5～6歳児を対象に、就学前教育施設で行われる。5、6歳児には、就学前教育が義務付けられている。

2. 義務教育

義務教育は、5～16歳の11年である。

3. 初等・前期中等教育

初等・前期中等教育は、7歳入学で9年間、基礎教育として行われる。基礎教育は、初等学校(第1～6学年又は第1～4学年)又は基礎学校で行われる。ギムナジウムや普通中等学校で第7～9学年又は第1～9学年を提供する学校もある。第9学年終了時には国家試験が実施され、合格者には基礎教育修了証が授与される。

4. 後期中等教育

後期中等教育は、普通教育又は職業教育に分かれる。普通教育は、基礎教育修了者を対象に3年間、普通中等学校又はギムナジウムで行われる。終了時には試験が実施され、合格者には中等教育修了証が授与される。

職業教育は、基礎教育修了者を対象に、各種の中等職業教育学校で行われる。中等職業教育学校には、職業基礎学校(2年制)、職業中等学校(2～3年制)及び職業ギムナジウム(4年制)があり、修了時にはそれぞれ相応の職業資格を取得する。職業基礎学校では15歳以上の基礎教育未修了者を受け入れており、この場合、職業教育と並行して基礎教育を履修することができる。

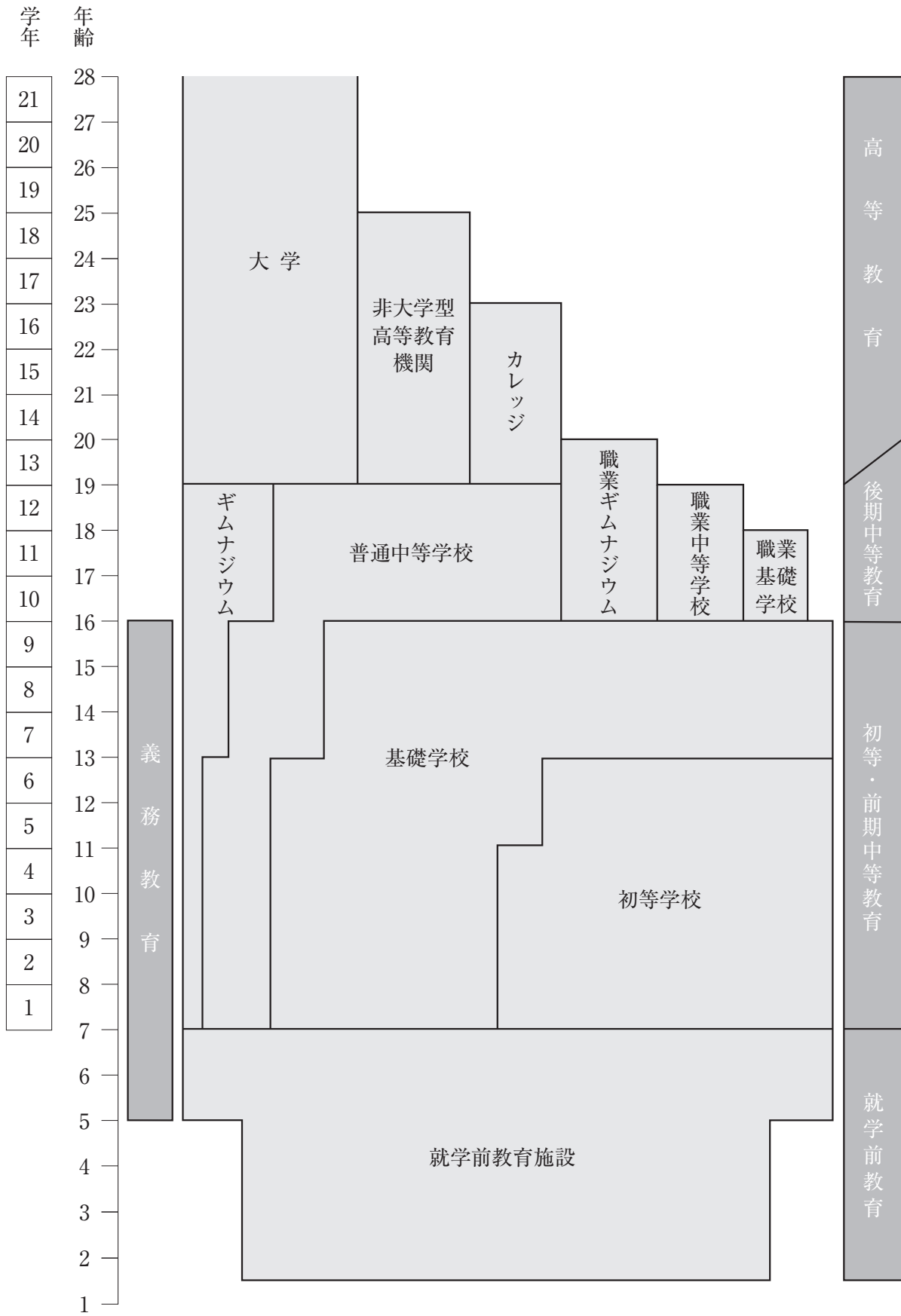
5. 高等教育

高等教育は、大学、非大学型高等教育機関及びカレッジにおいて行われる。大学には、学士課程(3～4年)、修士課程(1～2年)、博士課程(3～4年)が置かれている。非大学型高等教育機関には、職業的要素を持つ学士課程や修士課程が置かれる。カレッジには、専門分野における資格取得を目的とする課程が置かれている。2～3年で高等職業第一学位、4年で専門資格を取得する。

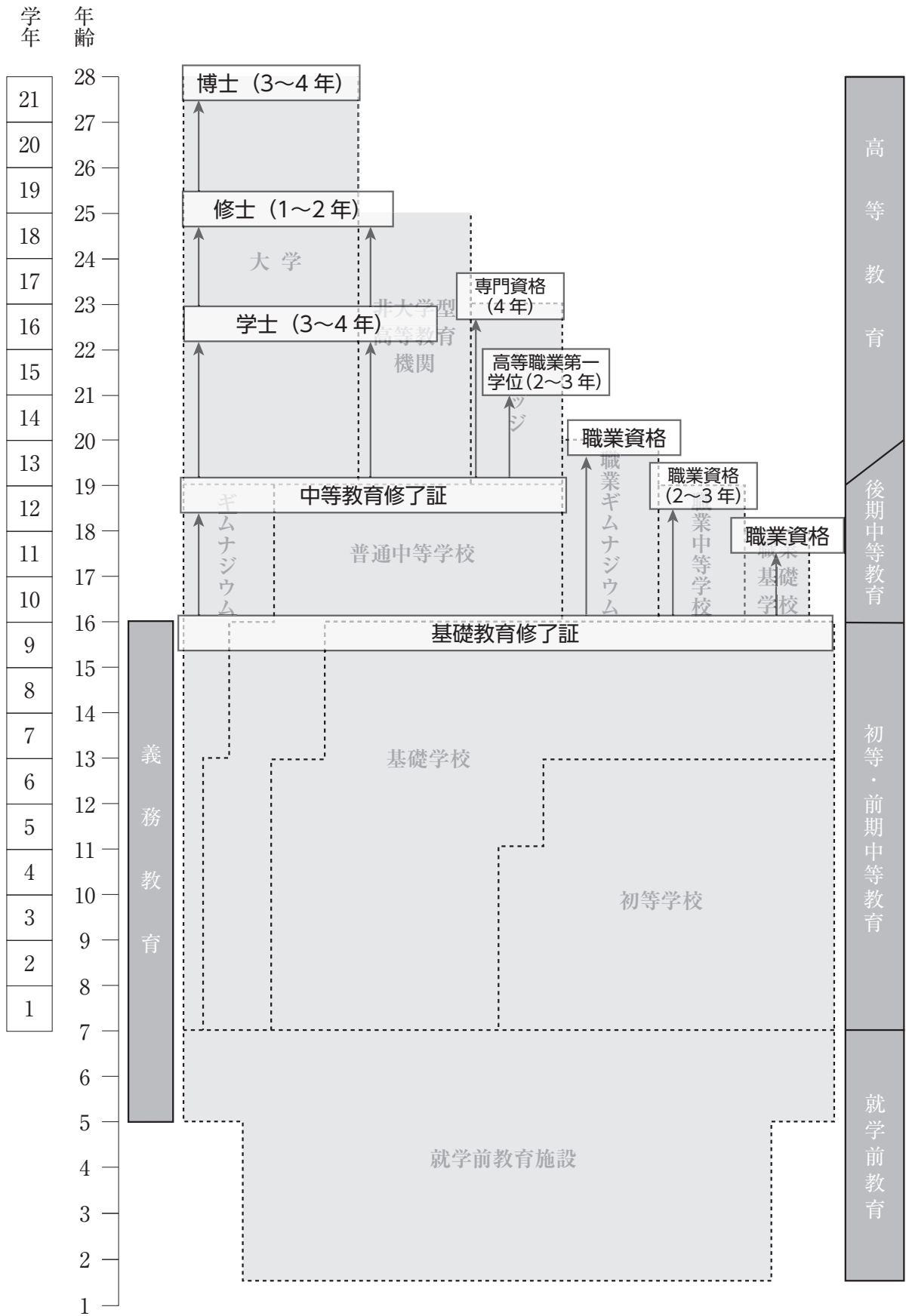
《参考資料》

- ・ UNESCO, World Data on Education, 7th edition, 2010/11.
- ・ Eurydice, Latvia (<https://webgate.ec.europa.eu/fpfis/mwikis/eurydice/index.php/Latvia:Overviewほか>) (2016年8月17日閲覧).
- ・ ラトビア教育科学省 (<http://www.izm.gov.lv/en/education/education-system-in-latvia>).

V 学校系統図



VI 取得可能な資格・学位



欧州